

## 解説書

# スケールの覚えが使功事典

V o 1.

〈ペンタトニック、ハーモニック・マイナー、他〉

Rittor Music

## ロック・ギタリストのための スケールの覚え方・使い方事典

Vol.1

〈ペンタトニック、ハーモニック・マイナー、他〉

#### C O N T E N T S

※以下はビデオのコンテンツです。解説書には★印の付いた項目に関する譜例または図が掲載されています。

#### ●オープニング・デモンストレーション

[COME DOWN] by Toshiki Horisawa

#### ●PART 1 基本的なスケール(メジャー・スケールとナチュラル・マイナー・スケール)

- ★1-1:Cメジャー・スケール
- 1-2:ルートについて
- 1-3:音程を表わす数字について
- ★1-4:メジャー・スケールのフィンガリング・パターン
- ★1-5:Aナチュラル・マイナー・スケール
- ★1-6:ナチュラル・マイナー・スケールのフィンガリング・パターン
- ★1-7:Aナチュラル・マイナー・スケールとCメジャー・スケールの関係(平行調)
- ★1-8:Cナチュラル・マイナー・スケールとCメジャー・スケールの比較

#### ●PART 2 マイナー・ベンタトニック・スケール

- ★2-1:Aマイナー・ペンタトニック・スケール
- ★2-2:マイナー・ペンタトニック・スケールのフィンガリング・パターン
- ★2-3:マイナー・ペンタトニック・スケールのチョーキング・ポイント 2-4:マイナー・ペンタトニック・スケールをコード・フォームと関連させて覚える
- ★2-5:Aマイナー・ペンタトニック・スケールによるデモ演奏
- ★2-6:マイナー・ペンタトニック・スケール+2
- ★2-7:マイナー・ペンタトニック・スケール+2+b6(ナチュラル・マイナー・スケール)
- ★2-8:Aマイナー・ペンタトニック・スケール+2+b6によるデモ演奏

#### ●PART 3 メジャー・ペンタトニック・スケール

- ★3-1:Cメジャー・ペンタトニック・スケール
- ★3-2:Cメジャー・ペンタトニック・スケールとAマイナー・ペンタトニック・スケールの関係
- ★3-3:Cメジャー・ペンタトニック・スケールによるデモ演奏(その1)
- ★3-4:Cメジャー・ペンタトニック・スケールによるデモ演奏(その2)

#### ●PART 4 ブルーノート・ペンタトニック・スケールとブルース・スケール

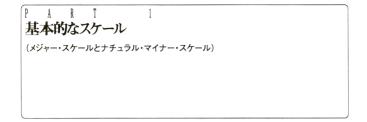
- ★41:Cブルーノート・ペンタトニック・スケール
- 42:ブルーノート・ペンタトニック・スケールのクォーター・チョーキング・ポイント
- ★43:Cブルーノート・ペンタトニック・スケールによるデモ演奏
- ★44:ブルーノート・ペンタトニック・スケール+b5
- ★45:Cブルーノート・ペンタトニック・スケール+ b5によるデモ演奏 46:ブルーノート・ペンタトニック・スケール+メジャー・ペンタトニック・スケール(分離型)
- ★47:Cブルーノート・ペンタトニック・スケール+Cメジャー・ペンタトニック・スケール(分離型)によるデモ演奏
- ★48:ブルーノート・ペンタトニック・スケール+メジャー・ペンタトニック・スケール(混合型)
- ★49:Cブルーノート・ペンタトニック・スケール+Cメジャー・ペンタトニック・スケール (混合型) によるデモ演奏
- ★4-10:Cブルース・スケール
- ★411:Cブルース・スケールによるデモ演奏
- ★4-12:まとめのデモ演奏(その1)
- ★4-13:まとめのデモ演奏(その2)

## ●PART 5 ハーモニック・マイナー・スケールとハーモニック・マイナーP5↓

- ★5-1:Aハーモニック・マイナー・スケール
- ★5-2:ハーモニック・マイナー・スケールのフィンガリング・パターン
- ★5-3:Aハーモニック・マイナー・スケールとAナチュラル・マイナー・スケールによるデモ演奏
- ★5-4:Eハーモニック・マイナーP5↓(パーフェクト・フィフス・ビロウ) 5-5:ハーモニック・マイナーP5↓とセプンス・コードを関連づけて覚える
- ★5-6:ハーモニック・マイナーP5↓からディミニッシュのアルペジオを抽出する
- ★5-7:Aハーモニック・マイナー・スケール(Eハーモニック・マイナーP5↓)によるデモ演奏

#### ●エンディング・デモンストレーション

M.L.F.J by Toshiki Horisawa



## 1-1:Cメジャー・スケール



1-4:メジャー・スケールのフィンガリング・パターン

ビデオではCをルートに、①→⑩→⑲の順で演奏しています。

#### ●6弦ルートのダイアグラム

(1)



(5)

8

11)







3

**(4**)





7





10





## ●5弦ルートのダイアグラム



(17)



(18)









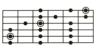
19







22)





23



#### ●6弦ルートのダイアグラム

- ①:中指ルートのポジション
- ②:3弦の4thを2弦に移動 <u>3</u>: 1)+2
- ④: 人差指ルートのポジション ⑤: 3弦の5thを2弦に移動
- 6:4+5
- ⑦: 小指ルートのポジション (8): 3弦の3rdを2弦に移動
- 9:7+8
- ⑩: 人差指ルートの各弦3音パターン
- ①: ウェートの各弦3音パターン ②: 小指ルートの各弦3音パターン

#### ●5弦ルートのダイアグラム

(3): 中指ルートのポジション

24)

- (4): 3弦ルートを2弦に移動 (5): (3)+(4)
- (6): 人差指ルートのポジション(7): 3弦の2ndを2弦に移動(8): (6)+(7)

- (9): 小指ルートのポジション(20): 2弦の7thを3弦に移動(21): (9)+ (20)
- ②: 人差指ルートの各弦3音パターン ②: 中指ルートの各弦3音パターン ②: 小指ルートの各弦3音パターン

## 1-5: Aナチュラル・マイナー・スケール

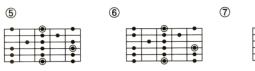


## 1-6: ナチュラル・マイナー・スケールのフィンガリング・パターン

ビデオではAをルートに、①→⑪→⑭の順で演奏しています。

#### ●6弦ルートのダイアグラム



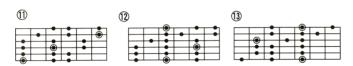




16)

19

22



#### ●5弦ルートのダイアグラム



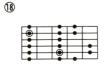
(14)

(8)

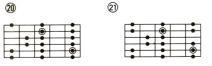




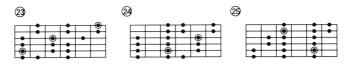












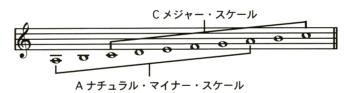
#### ●6弦ルートのダイアグラム

- ①: 人差指ルートのポジション
- ②: 3弦の2ndを4弦に移動 ③: 2弦の5thを3弦に移動 ④: ②+③
- ⑤: 中指ルートのポジション ⑥: 3弦の4thを2弦に移動 ⑦: ⑤+⑥

- ⑧: 小指ルートのポジション
- ⑨: 3弦の ♭ 3rdを2弦に移動 ⑩: ⑧+⑨
- ①: 人差指ルートの各弦3音パターン
- ①: ケートの各弦3音パターン ①: 中指ルートの各弦3音パターン ①: 小指ルートの各弦3音パターン

- ●5弦ルートのダイアグラム
- (4): 人差指ルートのポジション (5): 2弦の2ndを3弦に移動
- 16:14+15
- (7): 中指ルートのポジション
- 18:3弦のルートを2弦に移動 19:①+18
- 20: 小指ルートのポジション
- ②: 3弦の b 7thを2弦に移動 ②: 20+20
- ②: 人差指ルートの各弦3音パターン ②: 中指ルートの各弦3音パターン ③: 小指ルートの各弦3音パターン

## 1-7: Aナチュラル・マイナー・スケールと Cメジャー・スケールの関係(平行調)



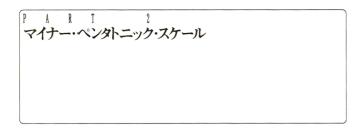
## 1-8: Cナチュラル・マイナー・スケールと Cメジャー・スケールの比較

#### Cメジャー・スケール



## Cナチュラル・マイナー・スケール





## 2-1:Aマイナー・ペンタトニック・スケール



## 2-2:マイナー・ペンタトニック・スケールの フィンガリング・パターン

ビデオではAをルートに、①→③→④の順で演奏しています。

●6弦ルートのダイアグラム

1





3



●5弦ルートのダイアグラム





6



●4弦ルートのダイアグラム

7



- ●6弦ルートのダイアグラム
- ①: 人差指ルートのポジション ②: 小指 (薬指) ルートのポジション ③: 5弦でポジション移動するパターン 4弦ルートのダイアグラム
- ●5弦ルートのダイアグラム
- ④: 人差指ルートのポジション
- ⑤: 小指(薬指) ルートのポジション ⑥:4弦でポジション移動するパターン

  - ⑦: 人差指ルートのポジション

## 2-3:マイナー・ペンタトニック・スケールのチョーキング・ポイント

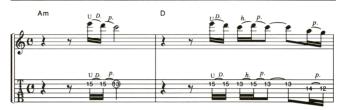
## ○=チョーキングに多用されるポイント



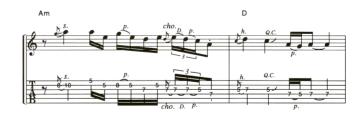


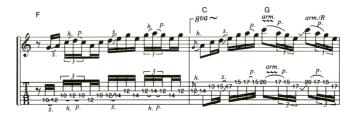


## 2-5: Aマイナー・ペンタトニック・スケールによるデモ演奏

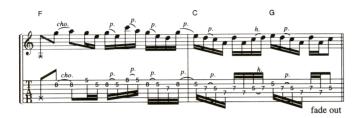




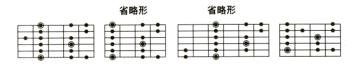




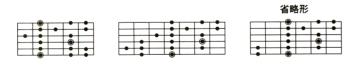




2-6:マイナー・ペンタトニック・スケール+2

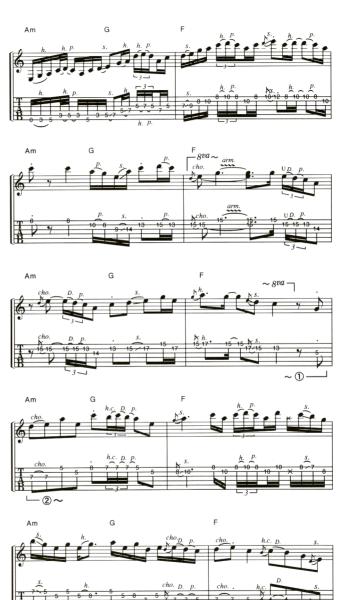


2-7:マイナー・ペンタトニック・スケール+2+♭6 (ナチュラル・マイナー・スケール)



## 2-8: Aマイナー・ペンタトニック・スケール+2+6によるデモ演奏

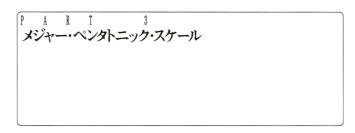




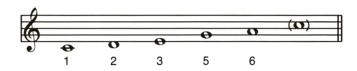


①:Aマイナー・ペンタトニック・スケール ②:Aマイナー・ペンタトニック・スケール+2





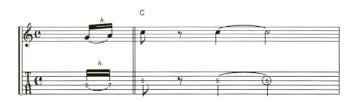
3-1: Cメジャー・ペンタトニック・スケール



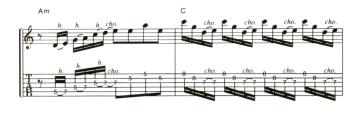
3-2: Cメジャー・ペンタトニック・スケールと Aマイナー・ペンタトニック・スケールの関係

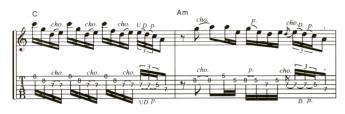


3-3: Cメジャー・ペンタトニック・スケールによるデモ演奏 (その1)



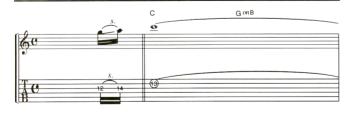


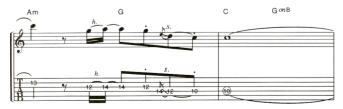




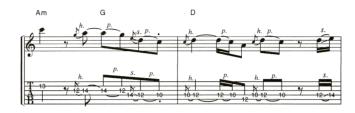


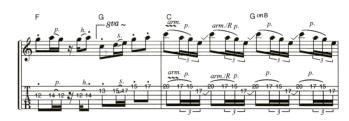
3-4: Cメジャー・ペンタトニック・スケールによるデモ演奏 (その2)

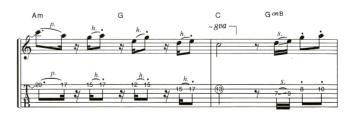








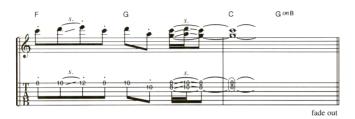


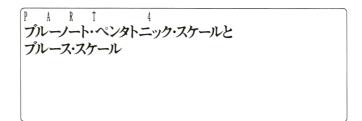




1 4





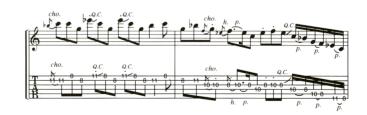


## 4-1:Cブルーノート・ペンタトニック・スケール



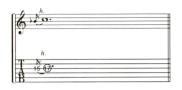
## 4-3:Cブルーノート・ペンタトニック・スケールによるデモ演奏











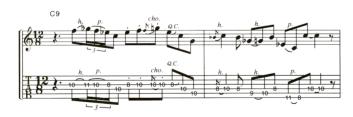
4-4:ブルーノート・ペンタトニック・スケール+♭5

ブルーノート・ペンタトニック・スケール+ 5のダイアグラム





4-5:Cブルーノート・ペンタトニック・スケール+ b5 によるデモ演奏







4-7:Cブルーノート・ペンタトニック・スケール +Cメジャー・ペンタトニック・スケール(分離型) によるデモ演奏







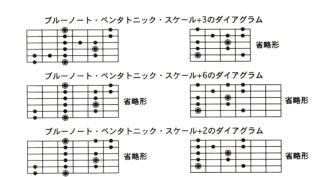


- ①: Cメジャー・ペンタトニック・スケール ②: Cブルーソート・ペンタトニック・スケール ③: Cメジャー・ペンタトニック・スケール ④: Cブルーノート・ペンタトニック・スケール

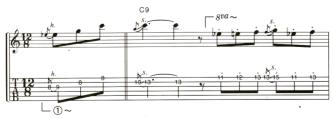


4-8:ブルーノート・ペンタトニック・スケール +メジャー・ペンタトニック・スケール(混合型)

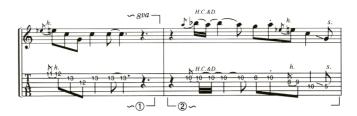


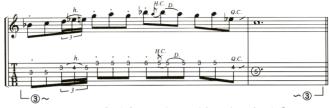


4-9: Cブルーノート・ペンタトニック・スケール +Cメジャー・ペンタトニック・スケール(混合型) によるデモ演奏



①: Cブルーノート・ペンタトニック・スケール+3





①: Cブルーノート・ペンタトニック・スケール+3 ②: Cブルーノート・ペンタトニック・スケール+3+6 ③: Cブルーノート・ペンタトニック・スケール+2+3+6

4-10 : Cブルース・スケール



4-11:Cブルース・スケールによるデモ演奏











## 4-12:まとめのデモ演奏(その1)



①: Cメジャー・ペンタトニック・スケール ②: Cブルーノート・ペンタトニック・スケール

~@\_





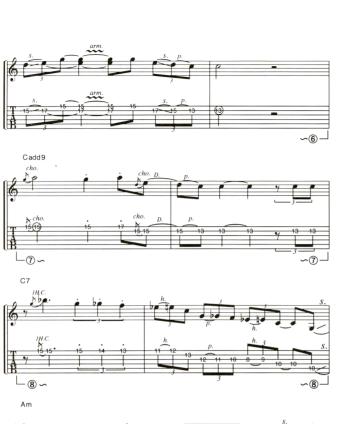






- ③: Aマイナー(Cメジャー)・ペンタトニック・スケール ④: Cメジャー・ペンタトニック・スケール ⑤: Cブルーノート・ペンタトニック・スケール+♭5 ⑥: Aマイナー・ペンタトニック・スケール

L<sub>2</sub>~







- ⑥: Aマイナー・ペンタトニック・スケール⑦: Cメジャー・ペンタトニック・スケール⑧: Cブルース・スケール⑨: Aマイナー・ペンタトニック・スケール



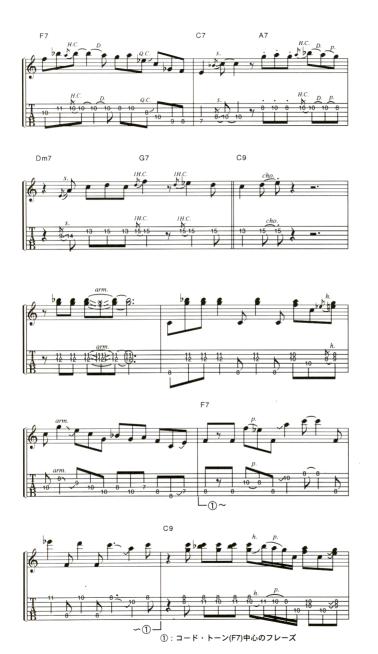








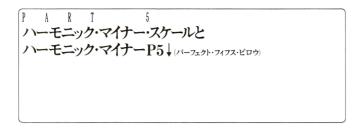








②: コード・トーン(G7)中心のフレーズ ③: コード・トーン(F7)中心のフレーズ ④: 各コードのアルベジオ



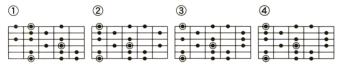
## 5-1:Aハーモニック・マイナー・スケール

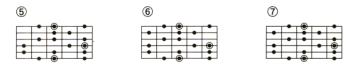


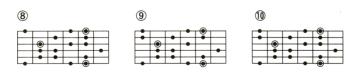
## 5-2:ハーモニック・マイナー・スケールのフィンガリング・パターン

ビデオではAをルートに、①→⑪→⑭の順で演奏しています。

#### ●6弦ルートのダイアグラム

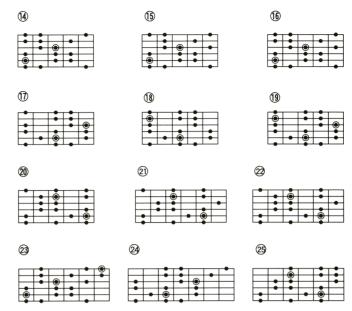








#### ●5弦ルートのダイアグラム



## ●6弦ルートのダイアグラム

## ●5弦ルートのダイアグラム

- ①:人差指ルートのポジション
- ②:3弦の2ndを4弦に、1弦の7thを2弦に移動③:2弦の2thを3弦に移動③:2弦の5thを3弦に移動⑥: ⑭+⑮
- 4:2+3
- ⑤:中指ルートのポジション ⑥:3弦の4thを2弦に移動
- 7:5+6
- ⑧: 小指ルートのポジション
- ⑨:3弦のb3rdを2弦に移動
- 10:8+9
- ⑪:人差指ルートの各弦3音パターン
- ①:中指ルートの各弦3音パターン
- ③:小指ルートの各弦3音パターン

- (4): 人差指ルートのポジション

- ⑰: 中指ルートのポジション
- 18:3弦のルートを2弦に移動
- 19:17+18
- 20: 小指ルートのポジション
- ②: 2弦の7thを3弦に移動
- 22): 20+21)
- ②: 人差指ルートの各弦3音パターン
- ② : 中指ルートの各弦 3 音パターン ② : 小指ルートの各弦 3 音パターン

## 5-3: Aハーモニック・マイナー・スケールと Aナチュラル・マイナー・スケールによるデモ演奏



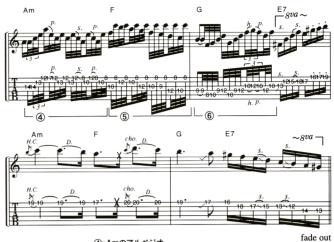








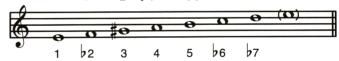
- ①: Amのアルベジオ ②: Aナチュラル・マイナー(Fリディアン)・スケール ③: Aナチュラル・マイナー(Gミクソリディアン)・スケール



④:Amのアルベジオ⑤:Aナチュラル・マイナー(Fリディアン)・スケール⑥:G7のアルベジオ

5-4:Eハーモニック・マイナーP5↓

## E ハーモニック・マイナー P5↓



## E ハーモニック・マイナー P5 ↓

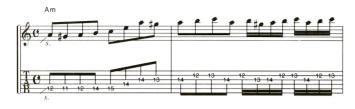


5-6:ハーモニック・マイナーP5↓から ディミニッシュのアルペジオを抽出する

## E ハーモニック・マイナーP5↓



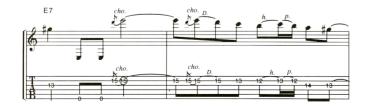
## 5-7: Aハーモニック・マイナー・スケール (Eハーモニック・マイナーP5↓)によるデモ演奏



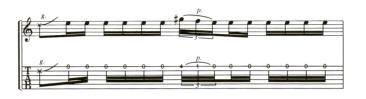


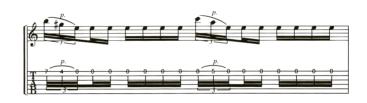


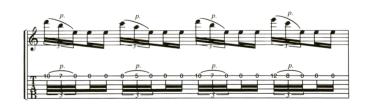


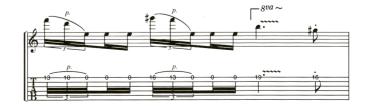










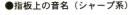


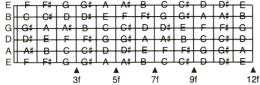
3 2



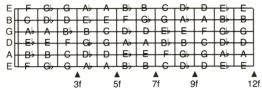
3 4

## 参考資料

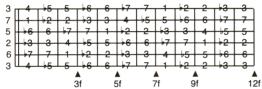




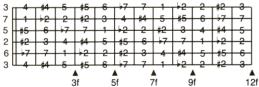
## ●指板上の音名 (フラット系)



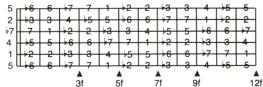
#### ●C音からの音程(フラット系)



#### ●C音からの音程(シャープ&フラット)



●A音からの音程(フラット系)



●A音からの音程(シャープ&フラット)



## 堀沢俊樹インタビュー 聞き手:中島康晴

インストラクター堀沢俊樹氏のインタビューをお届けしよう。 彼自身がスケールを身につけていった経緯、デモ演奏に関する エピソードなど、ビデオの内容に沿った話題なので、参考にな るところも多いと思う。Vol.2の解説書にも以下の続きが載っ ているので、お楽しみに。

- ●ギターを始めたのはいつですか?
- ○中学2年生くらいですね。
- ●スケールについて知ったのは、ギターを始めて何年ぐらいたった頃でしたか? ○スケールの名前を知ったのは、高校を出てからだと思います。
- ●では、アドリブを始めたのもその頃ですか?

○いや、最初はコピーでしたけど、高校1年か2年頃からソロに関しては、ポイントだけ押さえておいて、あとは適当に弾くようになっていました。まぁそれが初歩的なアドリブみたいなものですかね。

●その頃、自分がどんなスケールを使っていたか、思い出せますか?

○ナチュラル・マイナーとハーモニック・マイナーとドリアンくらいは区別していたと思います。名前はあとから知ったんですけど。当時はそれにブルース系のフレーズがあれば、充分でしたね。●スケールの名前は、どよか風に覚え

●スケールの名前は、どんな風に覚えたんですか?

○音楽学校にちょっと行ってたんですけど、そこでようやく音と名前が一致してきました。例えばマイルス・デイヴィスの「ソー・ホワット」が課題になった時に、"これがドリアンっていうのか"というように。ドリアンもチャーチ・モードで一気に見せられた時はなんとも思わなかったんですけど、実際に弾いてみて"あぁこれか"っていうような感じでしたね。

●ビデオで紹介しているアイディアを、 堀沢さん自身はどんなところで仕入れ たのか、もし記憶に残っていたら教え て下さい。

○例えばマイナー・ペンタトニックに 2やb6を足す、というやつは、レッド・ ツェッペリンの「天国への階段」で、 これはもうビデオでも、ほとんどその ままやってます(笑)。高校1年くら いに、「天国への階段」のライブ・バ ージョンをバンドでコピーしようって ことになったんですけど、ソロが長くて、 とても全部は覚えられたもんじゃない。で、 要所要所のフレーズと、大体どのへん のポジションのどの音がよく使われて いるかをチェックしておいて、あとは 適当にごまかしていたのが、さっき言 ってた初歩的なアドリブの始まりでし たね。結局ジミー・ペイジのフレーズが、 マイナー・ペンタトニックを骨格にして、 そこに2と66を絡ませるという感じだ ったんで、適当とはいっても、なんと なく真似してるうちに自然とそういう 組み立てになっていったような気がし ます。大きく分けてポジションが3つ あるとか、スライドでポジションを移 動するとか、コードがFの時にだけ出 てくる音があるとか…まぁそれがり6 だったわけですけど。何かといい教材 になっていましたね。今はどちらかと いうと苦手なタイプのコード進行です けど(笑)。

- ●なるほど。
- ○そういえば、ドリアンもツェッペリンで覚えたような…
- ●「ノー・クォーター」ですか?

○たしかそうだったと思います。b6が、 どうも響きが良くないってことで、合 う音を探していたらドリアンの形になった。

## ●ハーモニック・マイナー・スケール は何で知ったんですか?

○リッチー・ブラックモアとアル・デ ィメオラですかね。ハーモニック・マ イナーというよりはP5↓かな? まず 1弦だけで音を探していって、それを 他の弦に移動させていくうちに、ハー モニック・マイナーの形になったと。 たしかそんな感じで見つけていったん だと思います。あと、ナチュラル・マ イナーとハーモニック・マイナーをコ ードによって使い分けるっていうのは、中に、思いつきで II-Vを入れたり…そ アル・ディメオラの曲で発見したよう な気がしますね。ビデオのデモ演は、 どちらかというとイングヴェイ・マル ムスティーン風にしようとしてますけど。 ●ところでVol.1のオープニングの曲、 「COME DOWN についてコメントを

○この曲はもともとザ・サージェリー の1stアルバムに入っている歌ものなん ですけど、ライブでは、リフだけをデ ィレイでホールドしながら延々ソロを とったりもしてたんですよ。日によっ ては、その上でいろいろなスケールを 弾き分けるようなこともあって、今回 はそれにバックを付けてコンパクトに まとめたような感じです。この曲は打 ち込みのインストでもレコーディング したんですけど、残念ながら発表され る見込みはありません。傑作なんです けどね(笑)。

## ●今回は、よりビデオのテーマに合っ た形で再現してくれたわけですね。

○そうですね。例えばコードが変わる ごとにスケール・チェンジしていくよ うな曲も考えられましたけど、一定の リフの上でスケールだけを変えていく 方が、露骨にスケールの違いがわかる んじゃないかと。

●エンディングの「M.L.F.」について もひとことお願いします。

○私には正月ごとに新ネタをひとつ仕 入れるという習慣がありまして(笑)。 たしか2年くらい前の正月に、マイケル・ リー・ファーキンスの奏法をちょっと やっておこうかなと思って、小指にア

ームを引っ掛けておくクセをつけたん ですけど、その流れで作った曲です。 これも元は歌ものですけど、今回は急 に私が歌いだしても不自然だし(笑)。 ちなみにブルース進行のデモ演(項目: 413) の2コーラス目もマイケル・リー 奏法でやってます。スケールの教則と しては反則ですね(笑)。

●ハードな曲調の中に、ジャズ的な要 素も感じられますね。

○ドラムとベースを打ち込んでいる最 ういう小細工はしてますね(笑)。

●これからいろんなスケールをマスタ ーしていこうという人に対して、アド バイスをお願いします。

○たぶん、スケールを覚えたいという 人は、アドリブのためだと思うんです けど、とりあえず、少しでもアドリブ ができるという状態になってから(ス ケールの勉強を)始めて下さい。例え ばドレミファ (メジャー・スケール) を知っていても、それでアドリブがで きるかというと、そうとは限らないで しょ? だからまず何かでアドリブの コツを掴んでおいて、そこから広げて いく。その何かっていうのが何もない のなら、とりあえずマイナー・ペンタ トニックとかで、無理矢理なんか弾い てみるとか。まったく何もない状態か らリディアンだのミクソリディアンだ のと知識を増やしてったところで、あ まり身につかないと思いますよ。

●ひとつのスケールを身につけてから、 次に進め、と?

○そうですね。個人差がありますから 一概には言えませんけど、その方が効 率はいいと思います。

●ビデオを見る人に、何か補足として 言っておきたいことはありますか?

○今回は、見る人が指板上の音名や度数、 コードなどをわかっているという前提 で説明していますので、わかりにくい と思ったら、そこら辺をおさらいして から、もう一度見なおしてみて下さい。

1997年7月28日

『ロック・ギタリストのためのスケールの覚え方・使い方事典Vol 2 内容

●オープニング・デモンストレーション

F#ドリアン・モード/A ミクソリディアン・モード/E リディアン・モード

●はじめに チャーチ・モードについて

●PART1 ドリアン・スケール

1-1:Aドリアン・スケール

1-2:ドリアン・スケールのフィンガリング・パターン

1-3:マイナー・ペンタトニック・スケールを骨格としたドリアン・スケールの省略パターン

1-4:Aドリアン・スケールによるデモ演奏

1.5.ドリアン・スケール+ 6.5

1-6:Aドリアン・スケール十 b 5によるデモ演奏

●PART2 ミクソリディアン・スケール

2-1:Cミケソリディアン・スケール

2-2:ミクソリディアン・スケールのフィンガリング・パターン

2-3:セブンス・コードにミケソリディアン・スケールを絡ませる

2-4:ブルース系のフレーズをミクソリディアン・スケールに変換する

2-5:ブルーノート・ペンタトニック・スケールを変化させたミクソリディアン・スケールの省略パターン

2-6:Cミクソリディアン・スケールによるデモ演奏

■PART3 リディアン・スケール

3-1:Cリディアン・スケール 3-2:リディアン・スケールのフィンガリング・パターン

3-3:Cリディアン(Aドリアン)・スケールによるデモ演奏

3-4:Cリディアン(Dミケソリディアン)・スケールによるデモ演奏

●PART4 ホールトーン・スケール

4-1:Cホールトーン・スケール

4-2:ホールトーン・スケールのフィンガリング・パターン

4-3:ホールトーン・スケールの規則性を利用したメカニカルなフレージング

4-4:Cミクソリディアン・スケールとCホールトーン・スケールによるデモ演奏

●PART5 コンビネーション・オブ・ディミニッシュ・スケール

5-1:Cコンビネーション・オブ・ディミニッシュ・スケール

5-2:コンビネーション・オブ・ディミニッシュ・スケールのフィンガリング・パターン

5-3:コンビネーション・オブ・ディミニッシュ・スケールの規則性を利用したメカニカルなフレージング

5-4:Cミクソリディアン・スケールとCコンビネーション・オブ・ディミニッシュ・スケールによるデモ演奏

●PART6 メロディック・マイナー・スケール

リディアン 67・スケール オルタード・スケール

6-1:Aメロディック・マイナー・スケール

6-2:メロディック・マイナー・スケールのフィンガリング・パターン

6-3:Fメロディック・マイナー・スケールによるデモ演奏

6-4:メロディック・マイナー・スケールとリディアントフ・スケールの関係

6-5:Eリディアン b 7・スケールによるデモ演奏

6-6:メロディック・マイナー・スケールとオルタード・スケールの関係

6-7:Fオルタード・スケールによるデモ演奏(その1)

6-8:Eオルタード・スケールによるデモ演奏(その2) 6-Q\*F # ドリアン・スケール + b 5 + 7 によるデモ演奏

●おまけ スケールに慣れるコツ

数字によるスケール表記を指板図に置き換える方法

ギター1本でスケールの雰囲気を掴む

ホールド・ディレイでスケールの雰囲気を掴む

●エンディング・デモンストレーション

[AUNT SUSAN | by Toshiki Horisawa



企画制作:リットーミュージック ※ この譜例集の無断複製は法律で禁止されています。